

第1回外務省・経済産業省合同政策会議
(概要記録)

日時：10月26日 16:10～16:45

場所：外務省新庁舎7階講堂

出席者：外務省：福山副大臣、吉良政務官、西村政務官

経済産業省：松下副大臣、増子副大臣、高橋政務官

他約35名

議題：対北朝鮮措置の国会承認を求めるの件

1. 外務省及び経済産業省からの報告

冒頭、福山外務副大臣から、これまで我が国が累次にわたる対北朝鮮措置を実施してきたところ、本年5月の北朝鮮による核実験実施等の北朝鮮をめぐる諸般の情勢を総合的に勘案して一連の対北朝鮮措置を実施したものであるが、今回承認をいただく措置(外国為替及び外国貿易法に基づく北朝鮮への輸出禁止措置等)に対する国会承認を求めるの件が先の国会で廃案となったため、改めて本臨時国会において承認をいただきたい旨説明した。続いて増子経済産業副大臣から、別添の会議配付資料に基づき、今回の議題である対北朝鮮措置の国会承認を求めるの件の具体的経緯、内容を説明するとともに、輸出入の全面禁止措置以降の日朝間の貿易の実態を示し、さらに、経済産業省として違法事案に厳格に対応している旨述べた。その上で、本国会で本件の承認をいただきたい旨説明した。

2. 質疑応答(10名程度の出席議員が発言)

(1) 貿易実態等について

(質問・コメント)

- ・ 第三国経由での輸出入に対する取締りを強化すべき。
- ・ 「人道目的」であれば日本から輸出が可能だというのが、どういうものが対象になるのか。本当に必要なものかどうかチェックされているのか。

(回答：増子経済産業副大臣)

- ・ 海保庁、外務省等とも連携しつつ、水際対策も含め、効果的な第三国経由での輸出入対策を行ってまいりたい。
- ・ 国際赤十字等の機関に対して無償で輸出される医薬品、食糧、衣料等であったり、受取人の個人的使用に供される衣料、食糧、書籍類等が措置の例外となる。例外対象となるか否かを個別に厳格にチェックしている。

(2) 対北朝鮮外交について

(質問・コメント)

- ・ 中国が北朝鮮をどう認識しているのか。日本は北朝鮮問題に関して中国とどう連携していくのか。

(回答：福山外務副大臣)

- ・ 温家宝国務院総理によると北朝鮮は日本や韓国との関係改善も望んでいるようであるが、日本としては、北朝鮮による具体的な行動がなければ立場は変わらない。

(3) 対北朝鮮措置の内容等について

(質問・コメント)

- ・ 制裁措置の解除の条件は何か。
- ・ 追加措置をするとしたら何が想定されるか。
- ・ インターネット等の情報の遮断を措置の一つとして考えられないのか。

(回答：福山外務副大臣)

- ・ 六者会合への復帰、核問題の解決等、総合的に判断して解除を検討することになるろう。
- ・ 追加措置のカードを対外的に見せることは相手を利することにもなるので、この場でお答えできない。
- ・ 今後の研究課題としたい。

< 配布資料をファイルで添付 >

(以上)